

1 事業概要

1) ニゴロブナ・ホンモロコ栽培漁業推進事業 (県補助事業)

ニゴロブナおよびホンモロコの資源量の急激な減少に対処して、資源の維持増大を図るため、種苗の生産放流を県補助対象事業、一部、協会単独事業として実施した。

(1) ニゴロブナ

放流結果

| | | | | | |
|-----------------|-------|---------|-----|-------|--------|
| 全長 | 28mm | 887万尾 | (計画 | 20mm | 800万尾) |
| (うち水田放流分 630万尾) | | | | | |
| 全長 | 114mm | 134万尾 | (計画 | 120mm | 130万尾) |
| 合計 | | 1,021万尾 | (計画 | | 930万尾) |

標識調査結果

| 年度 | 混獲率 |
|----------|-----|
| 平成 19 年度 | 77% |
| 平成 18 年度 | 68% |
| 平成 17 年度 | 66% |

混獲率：漁獲魚に占める放流魚の割合

(2) ホンモロコ

放流結果

| | | | | | |
|----|------|-------|-----|------|--------|
| 全長 | 21mm | 354万尾 | (計画 | 20mm | 300万尾) |
|----|------|-------|-----|------|--------|

標識調査結果

| 年度 | 混獲率 |
|----------|-----|
| 平成 19 年度 | 75% |
| 平成 18 年度 | 66% |
| 平成 17 年度 | 39% |

混獲率：漁獲魚に占める放流魚の割合

2) ホンモロコ資源緊急回復対策事業 (県委託事業)

減少したホンモロコ資源をふ化仔魚の大量放流で早急に回復させるため、姉川人工河川飼育池を活用し、平成 20 年度のふ化仔魚大量放流に向け、水産試験場と共同して、ホンモロコ親魚を養成した。

生産結果

| | | | |
|-------|-------|-----|--------|
| 養成親魚量 | 2.1トン | (計画 | 4.5トン) |
|-------|-------|-----|--------|

3) アユ人工河川管理運用事業（県委託事業）

鮎資源の維持培養を図るため、県の委託を受け、安曇川、姉川の人工河川を管理運用し鮎資源の増殖に努めた。

結果

| | | |
|-------|---------|--------------|
| 放流親魚量 | 13.5 トン | (計画 13.5 トン) |
| 購入親魚 | 10.0 トン | (計画 10.0 トン) |
| 天然親魚 | 3.5 トン | (計画 3.5 トン) |
| 流下仔魚数 | 19 億尾 | |

4) シジミ資源増大推進事業（県漁連委託事業）

セタシジミの資源および漁獲量の大幅な減少に対処し資源の回復を図るため、県漁連が実施する種苗の生産放流事業のうち、種苗生産分を県漁連より受託し、D型仔貝の生産・供給を行った。

放流結果

| | | |
|------|-------|------------|
| D型仔貝 | 30 億個 | (計画 35 億個) |
|------|-------|------------|

5) 沿整増殖場施設管理事業（県委託事業）

ホンモロコ、ニゴロブナ等温水魚の繁殖を保護助長するため県が沿岸漁場整備開発事業で設置した16ヶ所の増殖場施設を、その有効適切な活用と事故事前防止のため、県の委託を受けて施設の破損、集魚状況等の定期点検管理を実施した。

6) ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業 4月～7月）

ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖を保護助長するため、水産資源保護法により指定された湖北町延勝寺及び近江八幡市牧町地先の保護水面において、巡回監視、産卵繁殖状況等の把握業務を、県の委託を受けて実施した。

7) アユ保護水面管理事業（県委託事業 9月～11月）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定した保護水面区域（8河川）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵孵化を妨げる行為の未然防止のため監視等を行った。

8) 情報提供事業

インターネットによるホームページを開設し、広く県民に事業の情報を提供した。

9) 湖づくり活動支援事業

全長114mmのニゴロブナ稚魚3万尾に標識をつけて放流した。